



# 会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所  
 財団法人日本臨床衛生検査技師会  
 発行責任者 小崎繁昭  
 編集責任者 蒲池正次、小郷正剛、下田勝二、  
 山城元俊、及川雅寛、谷口薫、  
 高山敦也  
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号  
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722  
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>



## 平成 20 年度代議員会開催

平成 20 年度代議員会が、去る 1 月 23 日(金)午後 2 時から大森東急インにおいて開催され、平成 20 年度事業中間報告に続き平成 21 年度事業計画の骨子が示された。

### <平成 20 年度事業中間報告=抜粋=> ※事業報告全容は総会議案書参照(「医学検査」4号に掲載予定)

- ◆ 平成 20 年 12 月 31 日現在の会員登録状況(JAMTIS)は、会員登録数 49,419 名(前年同期 49,251 名)、継続会員数 46,309 名(前年同期 46,068 名)、新入会員数 3,110 名(前年同期 3,183 名)となっている。
- ◆ 公益認定取得については、厚労省および関係諸団体の情報を得つつ取得に向けた定款改正案を検討中である。厚生労働省からは「公益法人改革に関する各種調査」があり、それぞれ回答している。○公益法人の見直しによる改善計画の提出について、○行政と密接な関係にある公益法人への支出の無駄の集中点検について、○非課税措置の活用状況調査について、○協同組合における共済事業について一等である。
- ◆ 公明党臨床検査技師制度改革議員懇話会および自由民主党厚生労働部・厚生関係団体委員会へ、平成 21 年度予算編成に関する要望書<臨床検査データの標準化と精度保障に関する事業>を提出した。
- ◆ 中日新聞(東京新聞)の依頼により「臨床検査コラムの連載」に参画し、11 月 7 日より 1 年間(55 回)に亘る“国民向け—臨床検査”の紹介をはじめた。発行部数は、中日新聞(中部地区)と東京新聞(関東甲信地区)を合わせて約 400 万部となっている。この掲載文については、ホームページへ順次掲載している。
- ◆ 第 57 回日本医学検査学会を、北海道技師会の担当で 5 月 30 日(金)・31 日(土)に北海道札幌市において開催した。入場者は 3,330 名、展示入場者は 17,082 名(2 日間延べ)であった。この日本医学検査学会に合わせて、「日韓協定締結 30 周年記念事業」を、北海道札幌市<ホテルニューオータニ札幌>で開催した。海外からは招待者を含め 33 名の参加を得た。5 月 28 日の日韓共同声明の調印に続き、翌 29 日に記念式典を行い、日韓協定締結 30 周年功労者特別表彰および日韓共同声明を行った。更に、同日、日韓フォーラムを開催し、生活習慣病を 4 パネラーが講演した。
- ◆ 健康増進普及啓発活動として、昨年と同様、大型街頭 VISION を使用して啓発映像を放映した。今年度は、生活習慣病予防啓発活動<臨床検査普及月間・世界医学検査デー>を 4 月 12 日(土)~18 日(金)に全国 30 会場にての放映に続き、エイズ予防啓発活動<世界エイズデー>として 11 月 29 日(土)~同年 12 月 5 日(金)に全国 47 会場にて放映した。このエイズ予防啓発活動は、都道府県技師会に事業支援を依頼し啓発映像放映に加え啓発リーフレットの配布および健康祭り等へ参画した。
- ◆ 「平成 20 年岩手・宮城内陸地震」への募金活動を行い、義援金 2,795,958 円の協力を得た。共済特別会計から拠出金を繰り入れし総額 300 万円を、東北臨床検査技師会を通じ被災県である岩手県並びに宮城県技師会へ夫々 150 万円を寄託した。
- ◆ 平成 20 年 9 月 30 日現在の収支状況は、当初予算額に対し、収入の部では会費収入が 99.1%、支出の部では事業費 37.3% 管理費 65.3%、支出合計では 45.7%の比率となっている。
- ◆ 公益事業に限定した「日臨技と各都道府県技師会共催事業」として 18 道府県技師会、26 事業を認定し費用支出を行った。それは以下のとおりである。北海道、青森、岩手、宮城、茨城、群馬、埼玉、千葉、新潟、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、広島、愛媛、高知、宮崎の各道府県技師会である。
- ◆ 今年度の精度管理調査は、輸血検査を「輸血 A<血液型 3 種>」および「輸血 B<全般>」に分け診療報酬点数改訂に伴う検体検査管理加算に対応できるよう実施した。参加施設数等は、3,484 施設で、昨年より 159 施設の増加であった。調査結果回答方法は Web1,552 施設(44.5% : 前年度 39.5%)、FD1,932 施設(55.5% : 前年度 60.5%)であった。 →

P01: 平成 20 年度代議員会開催-1  
 P02: 同-2  
 P03: 同-3・平成 20 年度 NST 研修会  
 P04: 標準化事業解説<5>-1  
 P05: 同-2  
 P06: 岩手・宮城内陸地震義援金贈呈報告・検査のはなし-1  
 P07: 検査のはなし-2・平成 20 年度 NST 研修会  
 P08: 百均の電卓で解ける「統計入門」

P09: ひとくち英会話・JICA 研修・第 3 回 AAMLS 学会  
 P10: 厚生労働省:医療現場におけるホルムアルデヒド-1  
 P11: 同-2  
 P12: 医療落語<後編>  
 P13: 宇宙大診察・臨床検査技師年収ランク 51 位  
 P14: 投稿:臨検小話<それは誤解です>・情報:疑似通貨  
 P15: 環境問題研修会・実習指導者等講習会・話題の窓  
 P16: 医行為と医療行為は同じか・編集室